

令和7年(2025年)9月10日

保護者の皆様

札幌市立南白石小学校
校長 佐藤 元 基

全国学力・学習状況調査の「結果」及び「改善」について

新涼の候、保護者の皆様におかれましては、益々御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、本校の教育活動に対しまして温かい御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、4月に行いました「全国学力・学習状況調査」について、本校の調査結果がまとまりましたので、お知らせいたします。この調査は現6年生が対象となった結果ではありますが、他学年にも共通する学校全体の結果として捉え、授業改善等に生かしていきます。保護者の皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

1 全国学力・学習状況調査について

4月17日(木)、全国一斉に小学校第6学年と中学校第3学年の児童を対象に、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する」ことを目的に実施されました。

2 「教科に関する調査」結果の分析について

下記の表のように、国語、算数、理科それぞれの領域について、①と②を一体的に出題された問題に解答しました。

教科	国 語					
領域	言葉の特徴や使い 方に関する事項	情報の扱い方に 関する事項	我が国の言語文 化に関する事項	話すこと・聞く こと	書くこと	読むこと

教科	算 数				
領域	数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用

教科	理 科			
領域	「エネルギー」を柱とする領 域	「粒子」を柱とする領 域	「生命」を柱とする領 域	「地球」を柱とする領 域

①	身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
②	知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力 等

また、各教科について、領域それぞれの正答率を全国平均と比較し、以下の比較値に照らして表記しています。（全市共通）

基 準	全国平均 +3.1%以上	全国平均 +3.0%以内	全国平均	全国平均 -3.0%以内	全国平均 -3.1%以下
表 記	上回っている	ほぼ同程度であるが、やや上回っている	ほぼ同程度	ほぼ同程度であるが、やや下回っている	下回っている

3 「生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査」結果の分析について

全国平均と比較し、特徴のある結果についてお知らせしています。

4 その他

今回の結果は、今後の指導の在り方に生かすとともに、次年度の「『学ぶ力』育成プログラム」に反映していきます。なお、現6年生児童の結果（個人票）については、7月23日（水）に配付しています。

【国語】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【領域】

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

- 全国平均を上回っている。

「情報の扱い方に関する事項」

- 全国平均を上回っている。

「我が国の言語文化に関する事項」

- 全国平均を上回っている。

「話すこと・聞くこと」

- 全国平均を上回っている。

「書くこと」

- 全国平均を上回っている。

「読むこと」

- 全国平均を上回っている。

「話すこと・聞くこと」

- 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり、関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。

「書くこと」

- 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

「読むこと」

- 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。

「読むこと」

- 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。

○聞きたいことについて、自分なりの予想や疑問に感じていることなどを、目的や意図に応じて内容ごとにまとめ、それらを互いに結び付けて関係を明確にする学習活動の充実を図る。

○互いに書いた文章を読み合い、「どこを詳しくすれば目的や意図に応じた文章になるのか。」ということを中心として、アドバイスし合う学習活動の充実を図る。

○理由や事例を書き出し、書き手の考えを自分の言葉で短くまとめる学習活動の充実を図る。

○時間的な順序を表す言葉（「昔」、「今」、「次」など）、時を表す言葉（「奈良時代」、「平安時代」など）に着目し、その言葉に印を付けながら読んだり、大事な言葉を抜き出し、矢印でつないだりする学習活動の充実を図る。

【算数】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要

【領域】

「数と計算」

- 全国平均を上回っている。

「図形」

- 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「測定」

- 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「変化と関係」

- 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「データの活用」

- 全国平均を上回っている。

今回の調査における課題

「数と計算」

- 示された資料から、必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算すること。

「数と計算」

- 分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が共通する単位分数の幾つ分かを、数や言葉を用いて記述すること。

「数と計算」

- 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすこと。

「図形」

- 基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述すること。

「図形」

- 角の大きさについて理解すること。

改善の方向

○目的に応じて分類整理された表やグラフから**特徴や傾向を捉え、結論を導く**学習活動の充実を図る。

○分数の加法について、**数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、共通する単位分数を見出すことで、既習の整数の加法に帰着する**学習活動の充実を図る。

○一方の数量を決めればもう一方の数量がどのように決まるのか、あるいは一方の数量は他の数量に伴ってどのように変化するかという見方で、**二つの数量の関係を捉える**学習活動の充実を図る。

○どのような図形に分割したのかを明らかにして、**分割した図形の面積を求めるために必要な辺の長さなどを捉え、その図形の面積を求める**学習活動の充実を図る。

○角を作る辺の長さの大小と角の大きさの大小を混同することなく、**辺の開き具合に着目して比べる**学習活動の充実を図る。

【理科】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要

【領域】

「エネルギーを柱とする領域」

- 全国平均を上回っている。

「粒子を柱とする領域」

- 全国平均を上回っている。

「生命を柱とする領域」

- 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「地球を柱とする領域」

- 全国平均を上回っている。

今回の調査における課題

「粒子を柱とする領域」

- 「水は温まると体積が増える」を根拠に、海面水位の上昇した理由を予想し、表現すること。

「生命を柱とする領域」

- レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現すること。

「生命を柱とする領域」

- ヘチマの花のつくりや受粉についての知識を身に付けること。

「生命を柱とする領域」

- 顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能を身に付けること。

「地球を柱とする領域」

- 氷がとけてできた水が海に流れていくことの根拠について、理科で学習したことと関連付けて、知識を概念的に理解すること。

改善の方向

○学習したことと、自然の事物・現象との共通点を**分類・整理したり**、自然の事物・現象と習得した知識を関連付けて**説明したりする**学習活動の充実を図る。

○具体的な条件に着目できるように、植物の成長に関する既習の内容や生活の場面と関係付け、**問題を見いだす**学習活動の充実を図る。

○おしべや受粉などの**科学的な言葉を使って、説明する**学習活動の充実を図る。

○「像が視野の中心にない」「ピントが合っていない」などの状態のとき、**状態によってどのように操作すれば必要な像が得られるのかなど、様々な状態を想定して操作する**学習活動の充実を図る。

○問題解決を通して習得した知識を活用して、**学習の成果を日常生活との関わりの中で捉え直す**学習活動の充実を図る。

【質問紙調査】

質問紙調査の結果概要及び改善の方向等について

全国学力・学習状況調査では、学習意欲や生活の様子などに関する質問調査を行いました。質問紙の結果を基に、よりよい教育活動につなげていきたいと考えます。全国と比較して、本校児童の顕著な傾向が見られる質問項目をお知らせいたします。御家庭でも、お子様の学習や生活の充実のために、下記の結果を参考にさせていただきたいと思います。

【全国と比較して肯定的な回答の割合が高いもの】

質問番号	質問事項	本 校	全 国	全国平均差
31	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。	82.6	68.6	+14.0%
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	95.6	81.9	+13.7%
13	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	91.3	78.1	+13.2%
71	健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか。	91.3	80.0	+11.3%
45	国語の勉強は好きですか。	69.5	58.3	+11.2%
30 (1)	5年生までの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。 (1) 自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。	91.3	81.3	+10.0%
29 (1)	あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができると思いますか。	91.3	81.8	+9.5%
30 (5)	5年生までの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。 (5) 自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。	87.0	77.6	+9.4%
44	国語の勉強は得意ですか。	69.5	61.4	+8.1%
67	理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか。	100.0	92.4	+7.6%
49	国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてください。	82.6	75.5	+7.1%
62	理科の授業の内容はよく分かりますか。	95.6	88.9	+6.7%
35	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。	91.3	84.9	+6.4%

【全国と比較して肯定的な回答の割合が低いもの】

質問番号	質問事項	本 校	全 国	全国平均差
41	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。	65.2	83.3	-18.1%
26	地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか。（習い事は除く）	26.0	39.4	-13.4%
59	小数や分数の計算をするとき、工夫して計算しようとしていますか。	69.6	80.6	-11.0%
30 (6)	5年生までの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。 (6) 友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。	73.9	84.6	-10.7%
36	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。	69.6	79.4	-9.8%
58	算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか。	56.5	65.5	-9.0%
54	算数の授業の内容はよく分かりますか。	69.6	78.3	-8.7%
16	分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。	73.9	81.7	-7.8%
42	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。	73.9	80.8	-6.9%
61	理科の勉強は好きですか。	73.9	80.1	-6.2%
56	算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか。	78.2	83.3	-5.1%

5 全体を通して

【国語】

全ての領域で、平均を上回っています。今後は、「目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり、関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。」など、若干の課題があるものに対して、3ページの「改善の方向」に示したような **自分の考えをもち、それを順序よく相手に伝えるように述べたり、自らの成長や学びの進捗を自覚したりすることができる学習指導の在り方などの工夫をして参ります。**

【算数】

「数と計算」「データの活用」の領域については、平均を上回っていますが、「図形」「変化と関係」については、全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っています。今後は、「基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述すること。」などの課題があるものに対して、4ページの「改善の方向」に示したような **数学的な「見方や考え方」を働かせ、主体的に問題解決に取り組む学習指導の在り方などの工夫をして参ります。**

【理科】

「エネルギーを柱とする領域」「粒子を柱とする領域」「地球を柱とする領域」については、平均を上回っていますが、「**生命を柱とする領域**」については、**全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っています**。今後は、「ヘチマの花のつくりや受粉についての知識を身に付けること。」などの課題があるものに対して、5ページの「改善の方向」に示したような**実感的な理解を伴う学習指導の在り方などの工夫をして参ります**。

【質問紙調査】

○「自分が大切にされている」と実感できる学校づくりに向けて

「自分が大切にされている」と実感できるためには、自分のよさや可能性を認めたり、友達のよいところを見付けたりして、友達との関係の中で自分は誰かの役に立っている感覚を育てることが大切であると考えます。そのために、「聞き方あいうえお」や「聞き上手」をすべての学級で日常的に使用しています。また、聴き合う活動を大切に、自らの学びを仲間と協働して活動できる喜びを実感できるようにしています。

質問紙調査では、**合意形成のための思考を促す学級活動の工夫について課題があるといえます**。今後は、日常の授業だけではなく、**学級活動の場面においても、対話的な学びや協働的な学びの場面の「聴き合う」活動を通し、支え励まし合う温かい人間関係の中で、心豊かにしなやかに生きようとする態度を育むことができるように支援して参ります**。

○学び甲斐がある学校づくりに向けて

お子様に学ぶことの喜び（学び甲斐）をもたせてあげるためには、自ら学び進めた自信や、友達と共にやり遂げた達成感を実感し、子どもの笑顔があふれる授業づくりが大切であると考えます。そのために、本校では、「聴き合い、自ら考えて共に学び合う子の育成」という研究主題のもと授業づくりの研究を進めています。

質問紙調査では、**身に付けた知識・技能を活用することについて課題があるといえます**。札幌市では、学校での学びの質を高め、家庭と一体となって、「自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質や能力等」の「学ぶ力」を育成することを目指しています。本校でも、**毎日の「ぐんぐん」の取組、長期休み中の「家庭学習」を奨励し、進んで学ぼうとする態度を育てていきます**。また、より課題探究的な学習を意識して授業改善に取り組み、「**分かる・できる・楽しい授業づくり**」の充実を図って参ります。

○家庭や地域とともにある学校づくりに向けて

質問紙調査の「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでももらったりすることがありますか。（習い事は除く）（26）」については、「**地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。（27）**」について、**87.0%が肯定的に捉えています**。その意識を生かせるように、**今後も学校と御家庭が連携し、お子様が地域との関わりを深められるようにサポートをしていきたいと考えます**。

また、「さっぽろっこ『学び』のススメ まほうのかいわ」の更なる活用の充実を図り、学校と御家庭とで**お子様に寄り添い、伸びを認め、意欲を高める共感的・肯定的なメッセージを伝え、お子様の成長を促していきたいと考えます**。

さっぽろっ子「学び」のススメ

さっぽろっ子「学び」のススメは、子どもと家庭、子どもと学校、学校と家庭をつなぐものです。

子どもは、どの子もよさや可能性をもっています。
大人は子どもを他者と比較するのではなく、その子自身の成長を認めていくことが大切です。
学校で、家庭で、子どもに寄り添い、伸びを認め、意欲を高める
共感的・肯定的なメッセージを伝え、子どもの成長を促していきましょう。



学校も、家庭も、まほうのかいわで習慣づくり



SAPPORO

札幌市教育委員会

まほうのかいわを合言葉に「学習習慣」「運動習慣」「生活習慣」づくり！



これからの一年間、家ががんばりたいことは…

一年間のがんばりを振り返って

